

ICT を活用した効果的な「学びあい学習」中間発表会 報告書

日 時：平成 28 年 12 月 1 日（木）

場 所：西条市立玉津小学校

参加人数：市内小中学校等から 141 名

西条市では、特色ある学校教育の推進として、小・中学校 ICT 教育推進事業に取り組んでいる。平成 28・29 年度は、学力向上に繋がる ICT の活用として、「ICT を活用した効果的な『学びあい学習』」について、研究を進めている。本発表会は、研究指定校である玉津小学校の中間発表会である。

公開授業として、3 学級（低・中・高学年）の授業を公開した。教科のねらいに対応しつつ、一人も見捨てない、すべての子どもが学習意欲をもって授業に参加できるようにする取組やペア・グループでの対話を取り入れた授業であった。

研究発表では、研修主任の吉岡健二教諭が、今年度の玉津小学校の取組、研究の概要についての発表を行った。特に、アクティブ・ラーニングに向けて、授業改善を進めるために、「ジャンプ課題の設定」「ICT の活用」「『学びあい学習』における評価」を研究の 3 つの視点として研究を進め、具体的な実践事例をもとに、成果と課題について発表した。

指導講評・講演では、東京学芸大学教育学部の川崎誠司教授より、これまでの玉津小学校での訪問指導や中間発表会での公開授業をもとに、「ICT を活用した授業の実際」について、具体的なご指導と講演をしていただいた。

ICT を活用した授業づくり、ICT を授業で活用する際の課題、アクティブ・ラーニングと ICT の活用、質の高い学びにつながる課題設定のあり方、評価方法についてなど、多岐に渡り、実践事例を交え、具体的にご指導いただいた。これまでの西条市や玉津小学校の取組を総括しつつ、そこに見える課題について触れながら、今後の取組の方向性についてご指導いただき、大変参考になる内容であった。

玉津小学校の実践を踏まえた研究成果が市内全小・中学校に浸透し、ICT を活用した効果的な「学びあい学習」がどの学校でも実践できるよう、今後も取り組んでいきたい。



